

《2005年12月例会報告》

【日 時】2005年12月22日（木）19:00～21:00（→その後「ルン」～12:00）

【会 場】筑波大学附属高校体育館1Fミーティングルーム

【話題提供者】宇都宮徹壺

【参加者（会員）】葦沢慧（中央大学3年） 宇都宮徹壺（写真家） 田中理恵（アマチュアカメラマン） 徳田仁（セリエ） 名方幸彦（文京教育トラスト事務局長） 中塚義実（筑波大学附属高校） 前田博子（鹿屋体育大学） 宮崎雄司（サッカーマニア編集長） 室田真人（NPO法人九曜クラブ／中央大学） 両角晶仁（totoプロデューサー）

【参 考（未会員）】笠野英弘（セリエ） 鬼川和佳子（サッカーファン・OL） 早川絵美（サッカーファン・OL） 橋本綾子（サッカーファン）

【報告書作成者】葦沢慧

注) 参加者は所属や肩書を離れた個人の責任でこの会に参加しています。括弧内の肩書きはあくまでもコミュニケーションを促進するため便宜的に書き記したものであり、参加者の立場を規定するものではありません。

2006年FIFAワールドカップを語ろう①！

—トルコ vs スイス戦（欧州プレーオフ） 報告会—

宇都宮徹壺(フリー)

<プレゼンテーション>

プロローグ

11月12日、16日にW杯の欧州プレーオフ3試合（スペイン対スロバキア、スイス対トルコ、チェコ対ノルウェー）が開催された。これら3試合のうちから取材するカードを選ぶにあたって、直感で、スイス対トルコは絶対に盛り上がるに違いないと確信。理由は、

- 1) 国旗が似ている
- 2) イスラム教とキリスト教の国の対戦である
- 3) 規模的に小国対大国の対戦である
- 4) FIFAランキング（スイス38位、トルコ11位）および国内リーグの規模の違い
- 5) 民族的な違い。トルコは全員トルコ人（一部クルド人もいる）。一方スイスは移民の多い国。代表にも移民は多い。ドイツ語圏、フランス語圏、イタリア語圏等。スイス代表にはトルコ人選手もいる。

両チームの間に力の差はある。しかし！プレーオフは究極のホームアンドアウェー。何が起こるかわからない。番狂わせはあるぞ！と感じる。

11月12日 ファーストレグ スイスホーム

初戦はスイスホーム、首都ベルンのスタッド・ドゥ・スイスで行われた。ベルンは首都と言われているが、人口17万人の小さな首都。このスタジアムは2階（ピッチの下）がショッピングセンターになっている。レストラン、スーパー、美容院があり、試合が無い日でも収入が見込める。スタジアムはサッカー専用で、収容人数は3万人強。スタジアムの大きな特徴の一つはメインスタンド前に柵が無いということ。試合の見易さを重視しているということ、ピッチに飛び込むようなファンがスイスにはいないため。

トルコサポーターは元来、団結して盛り上がるが、スイスのトルコサポーターには殺気だったものが無く、非常に大人しく見えた。一方、スイスサポーターは予選を無敗（フランスに2引き分け）、2008年にユーロを開催するということもあり、自信を付けてきている。座席にはスイス国旗が並べられており、国歌斉唱の祭に掲げていた。

試合は満員で行われたが、国歌斉唱の時に問題が起きた。スイスサポーターのトルコ国歌に対するブーイングだ。サッカーにそこまで熱心ではないスイス人が国歌をブーイングしたのは信じがたい事実であった。この出来事が後の乱闘事件の布石になったと言える。

試合開始前は、アウェーとはいえ、圧倒的にトルコ有利と言われた試合だったが、前半の41分にスイスのセンデロスが先制。次のゴールは、ダメ押しゴールのスイス、アウェーゴールを狙うトルコのせめぎ合いになる。

後半に入るとスイスの選手のマークが厳しくなり、選手が熱くなる場面が増える。そんな中、スイスのベラミーがダメ押しのゴールを決める。ベラミーはコソボ難民であり、彼を見ると、スイスは多民族なチームであることを感じる。様々な民族が入り混じるチームだが、小さい国だけあって団結力は強い。このゴールでスイスが下馬評を覆し、2対0で勝利。

試合終了後のスイスの監督は「まだイスタンブールの90分がある」「2点は決して安心できる数字ではない」と発言し、気を引き締めた。一方のトルコ選手は沈んだ面持ちであった。

11月16日 セカンドレグ トルコホーム

2試合目、トルコではファン、報道とも加熱しプレッシャーをかけた。地元のスポーツ新聞では、スイス人選手の顔を抜き取り女装させた写真が表紙を飾った。スイス代表がイスタンブールに到着すると「地獄へようこそ」と書いた横断幕がかけられ、バスに卵が投げつけられ、大渋滞に巻き込まれ、その日は練習が出来なかった。

スイス同様、スタジアムを赤で埋めようと国旗が並べられ、スポンサーから帽子が配られた。この試合にはスイスから、歴史的瞬間を見たい300人余りのファンが訪れたが、彼らは護衛を付けられ、バスに分乗して会場に入っていた。そのバス目がけて多くのトルコファンが卵をぶつけていた。正に「地獄へようこそ」の光景であったと言える。

試合開始前は、トルコの有名な人気歌手を呼んだコンサートが大音量で開催されていた。トルコのサッカーに音楽は付き物と言われている。

スイス代表選手が入場してくると、トルコのファンから地面が揺れる大ブーイングで迎えられる。この瞬間、一世一代の勝負になるのではないかと感じる。スイスの国歌斉唱の際には聞き取れないくらいの大ブーイングが巻き起こった。

試合は開始直後から選手が熱くなり、荒れ模様の展開。トルコのFWハカンが徹底マークを受けるなか、この日は同じポジションのトゥンジャイが絶好調。序盤にスイスにPKを決められ、アウェーゴールを奪われ勝負ありかと思わせた。しかしトルコはトゥンジャイが2ゴールを決める。トルコはその後にPKを獲得し、3対1、アグリゲート（1戦、2戦の合計）3対3にする。

この時点での勢いは完全にトルコにあった。

ところが後半の深い時間帯に試合の方向は傾いた。トルコDFのささいな連携ミスのパス回しから、スイスFWストレーラーが奪い、GKをかわし、ゴール。このゴールはトルコを天国から地獄へと突き落とすゴールだったといえる。その後トルコは、終了間際にトゥンジャイがこの日3点目のゴールを決め、合計4対4にするが、アウエーゴールの差からこの時点で万事休す。トルコにとっては無情な、スイスにとっては歓喜の試合終了の笛が鳴った。その笛が鳴ると一斉に、両チームの選手が走ってロッカールームへ引き上げていった。その後、報道された乱闘騒ぎが通路口で起こったという流れである。

試合後のインタビューで、トルコのテリム監督は審判批判を繰り返した。勝ったスイスの監督のクーン監督は、審判批判を繰り返したテリム監督について「トルコは素晴らしい力を持っているにもかかわらず審判の責任にするのは非常に悲しい。トルコのサッカーが出来なかったのが敗因ではないか。」と発言した。

前回大会3位のトルコがドイツに辿り着けなかった。改めてW杯予選の難しさを感じると共に日本は緩かったのではと感じた。

2 試合を通じて感じたこと

- ・ プレーオフ特有のテンション、及びホームアンドアウェーの難しさがあった。
- ・ トルコ国歌に対するブーイングによりFIFAのブラッター会長が国歌斉唱廃止発言をした。スイス人であるブラッター会長は乱闘事件を起こしたトルコを批判し、次のW杯から締め出すとも発言。
- ・ トルコ人のメンタリティ。トルコ人は誇り高い民族。「かつて」こんなに凄かったんだぞ！というプライドを持っているということ。今回敗れた原因の一つは激しやすい性格が原因。
- ・ 今回トルコは敗戦により2つの良い点が生まれた。一つは世代交代。ハカン、アルパイではなく新しい若手を使う（U-17の大会でもトルコは好成績を残した）。もう一つは「世界3位」のプレッシャーから解き放たれるということ。伝統・熱いファンがいるため巻き返しは十分可能。

<ディスカッション>

トルコ対スイス戦をめぐって

中塚：ドイツに居たトルコ移民の人はがっかりでしょうね。

宇都宮：ドイツの人口8000万人のうち、トルコ移民は300万人とされています。比率としては相当大きいですよ。トルコからすればドイツは準ホームですからね。開催するドイツとしてもトルコに来て欲しかってでしょうね。人数が集まるでしょうから。選手達にしてもドイツ生まれが多いですから故郷に錦を飾りたかったでしょうしね。色んな意味でトルコはガッカリでしょうね。

中塚：2002年の前くらいにトルコ躍進の秘密でよく言われたのが、ドイツにいる移民を育て、本国に連れてくるという流れがありましたが、まだやっているのですか？

宇都宮：ありますね。確かドルトムントに在外トレセンがあります。あと大都市、ベルリン、フランクフルトであれば4部、5部リーグではトルコ人だけのクラブがあります。面白いのは、ドイツは今でこそ黒人の選手が代表に入るようになりましたが、歴史的にポーランド系の選手が多い中、ポーランド代表にはならないが、トルコ人はまず間違いなくトルコ代表をとるということですね。そこは民族の誇りですね。

前田：バラックはどこなんですか？

宇都宮：バラックは旧東ドイツに近い地方ですね。

名方：トルコはヨーロッパじゃないんですね。

中塚：地理の授業ではアジアに入ってますもんね。

宇都宮：私はイスタンブールしか行ってないんですけど、さらに東に行けば、全く顔付きから文化まで違うと聞きますね。

宇都宮：少し余談ですが、僕はトルコリーグに日本人選手が入って欲しいなと思ってますよ。少し前に中村俊輔がガラタサライか！？という報道がされましたよね。親日家が多い割にはオファーが無いんですよ。聞くとやはり、日本人はサッカーが下手だと思ってるんですよ。案外行けば面白いと思うんですよ。

名方：トルコ人の選手を日本のリーグに連れてきたら、親日的じゃないですか？

中塚：イルハンがいたじゃないですか（笑）

宇都宮：聞くと、イルハンがヴィッセル神戸に移籍するのは、ベシクタシュと同じ色のユニフォームだから凄く嬉しいと言っていたらしいですよ。きっと今のエンジ色のユニフォームは知らないでしょうね。それから、アルパイもいましたね。2 戦目が終わってホテルの部屋に帰ってコラムを書いていると、偶然乱闘シーンの映像が映し出されていたんです。スイスの選手が逃げる前に、先にトルコのスタッフに蹴りを入れて、その後にアルパイがスイスの選手にヘッドロックしているシーンが流れた後に、スタジオとアルパイが電話で結ばれてるんですよ（笑）

中塚：まだ裁定は下ってませんよね。

宇都宮：今回韓国はスイスと同組みで喜んでいるらしいですがそんなに甘くないですよ。見てて日本にとってスイスは嫌だなと思いましたね。苦手なタイプかなと。

宮崎：先ほどの話で、スイスの監督が、トルコは自分達のサッカーが出来なかったのが敗因だと言ってきましたが、逆に言えば自分達のサッカーをさせなかったといえますよね。

宇都宮：そうですね。あと意外と選手層が厚いなと思いましたね。有名なハカン・ヤキンが休みで大丈夫かと思いましたが、ちゃんと代わりが何人もいますし、みんなセリエやブンデスリーグでもまわっている海外組でしたからね。

徳田：アルコールは飲めるんですか？

宇都宮：飲めますよ。

徳田：イスラム教で飲めるのは不思議ですよ。お店で普通に飲めるんですか？

宇都宮：出さないお店もたまにありますけど。飲めますよ。

出張サロン in ドイツ

中塚：我々の展望の話、つまり「出張サロン in ドイツ」の話を少ししたいと思います。徳田さんからいくつかアイデアを頂いているのですが、今後の進め方の話をお願いします。

徳田：向こうでサロンをやるにあたって、皆さんが1ヶ月の間のどの部分に行くのかを重ねないといけないのでその調整が…

前田：クロアチア戦が見たいけれども、チケットが取れるかどうかね。

徳田：チケットは何とかするしかないんですけども。

中塚：チケットは、2006年はどんな感じになっているの？

徳田：一般発売のほうは3回目がこの間終わりましたよね。

前田：協会配分がありますでしょう。その扱いがまだアナウンスされていないんですよ。

中塚：オランダ va アルゼンチンっていつでしたっけ？

徳田：（日本対）ブラジル戦の前の日ですよ。

中塚：僕が今回描いている“必勝コース”は、初戦は日本でテレビ観戦して、日本の2，3戦目を現地で観戦、その間のオランダ対アルゼンチンをどこかの公園で見る。イメージとしては1998年の時のオランダ対メキシコをサンテティエンヌの公園で宇都宮さんと見たときのような感じで。

名方：ホテルは大丈夫なんですかね？

宇都宮：ニュルンベルグのホテルはクロアチアの旅行代理店が押さえたと聞きましたよ。

中塚：それではドイツツアーに関しては年内に一度アンケートを取り、希望をまとめたいと思います。

日本代表の展望

名方：ところで日本代表はベスト16まで行くんですかね？

宇都宮：ヨーロッパではノーチャンスと言われてますね。なんかブラジルと良い勝負したけど…で終わりそうな気がするんですよ。

前田：ブラジルは世間では良いと言われてますが良くは無いですよね。

宇都宮：コンフェデみたいにメキシコにあの時コロっと負けたじゃないですか。ああいうのは無いとはいえないですからね。

徳田：ブラジルも時々やってくれますからね。シドニーの時に南アフリカに負けましたし。

宇都宮：なんとなく1勝1敗で勝たなきゃいけないブラジル戦って気がするんですけど。

徳田：ドローが決まる前でのアンケートでは2試合目と3試合目を見る人が一番多かったですね。

ファイナルドロー

中塚：宇都宮さんはファイナルドローも行かれたんですか？

宇都宮：行きましたよ。

宮崎：あれはどうですか。噂通りの組み合わせになったんですか？

宇都宮：近くにモニターがなかったんで、パネルを見るしかなかったんですけど、友人からメールを貰って、セルビア・モンテネグロが南米とメキシコで何処かっていう時に色が違っていたと言うんですよ。アルゼンチンの玉だけが色が違っていたと言うんですよ。あとマテウスがドイツの開幕戦を引き当てる時に、手に取って離れたという風に見えたんですよ。別の友人が「決断力のあるマテウスがそうしたことは考えられない」と言ってましたね。

中塚：いくつかのボールは「温度が違う」という噂話を耳にしたことがあります。

前田：前回の日本は上手くやったということになるんでしょうか？

宇都宮：日本は前回シードされてましたからね。

名方：大予想とかしたら面白そうですね。

宇都宮：あれこそ toto でやれば面白いと思うんですけど。

中塚：W杯で toto やりたいですよ。かなり買うと思うんですよ。

前田：W杯のチケットが当たるとかにすれば良いかもしれないですね。スポンサーが入っていれば。

両角：ファミリーマートがやるかもしれませんね。「ワールドカップ」も「ドイツ」も使えないので、「6月にヨーロッパに行ってサッカーを見よう」とかって極端に言えばなりますね。キャンペーンに使うだけで名義使用になりますからね。

中塚：日本におけるドイツ年から来年はドイツの年へ。サロンもいよいよ海外進出出来ればなと思っています。

以上